

# 有害鳥獣被害防止の ためのハードとソフト について

佐賀県鳥栖市 株式会社 三生  
和田 三生

(農林水産省 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー)

(環境省 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター)



これまでの経過

**昭和39年 会社設立** 工作機械、産業機械修理、販売

**昭和41年 狩猟免許取得** 鳥類、イノシシ、シカ、熊

**昭和56年 捕獲事業に参入** 捕獲機の開発と販売

**昭和58年 有害捕獲指導の開始** 佐賀県猟友会より初依頼

**平成24年 三生塾開校** 設備（研修室、実演研修、宿泊）

# 有害鳥獣対策 における 問題点

■ 高齢化等による防  
護柵管理の労力不足

■ 捕獲は猟友会に依  
存

被害金額は  
大きくなる一方

## 人材育成

(対象)

佐賀県内市町の狩猟者  
や農業者

データを基に被  
害対策現場の課題  
を見える化した研  
修



爪幅を図る測定器

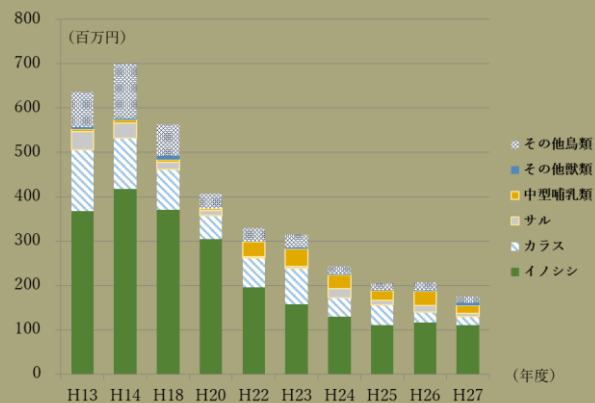
年度	指導回数	指導内容	指導人数
H19	5回	被害防止対策（捕獲）	230
	3回	利活用	85
H20	1回	被害防止対策（捕獲）	45
	3回	利活用	112
H21	1回	被害防止対策（捕獲）	86
	3回	利活用	69
H22	1回	被害防止対策（捕獲）	—
	1回	利活用	45
H23	3回	被害防止対策（捕獲）	150
H24	1回	被害防止対策（捕獲）	65
H25	2回	被害防止対策（捕獲）	26
H27	1回	被害防止対策（捕獲）	30
H29	1回	被害防止対策（捕獲）	30
H30	2回	被害防止対策（捕獲）	58
R2	1回	被害防止対策（捕獲）	5

計30回、延べ1,051人

# 取組の成果

～被害金額の減少と  
モデル取組の普及～

育成から広がる  
地域の活性化



## 【モデルとなる優良事例の育成】

- 佐賀県太良町伊福区  
(H23年度 生産局長賞)
- 佐賀県武雄地区有害獣広域駆除対策協議会  
(H24年度 生産局長賞)



# これまでの 取組の理念

～捕獲の失敗を  
少なくすること  
にこだわる～



## 捕獲の失敗が少ない高い性能の捕獲機 (ハード)の研究、開発

錯誤捕獲の少ない機能性をもつ捕獲機の開発

※熊の錯誤捕獲がない捕獲機も開発済み

捕獲機は目的獣に応じた強度と補てい具の活潑で安全を保つ

## 捕獲の失敗が少ない高い捕獲技術 (ソフト)を有する人材育成

失敗を減らし捕獲成功率を上げ、「スレ個体」を作らない技術

# 今後の展望

## (ハード面)

### ■ 猟具のJIS規格

猟具の安全性や捕獲の確実性（捕獲率の検査、検証）

### ■ AI技術の活用

○ 対象獣以外は捕獲機が作動しない錯誤捕獲防止装置

○ AI搭載カメラと自動捕獲機による個体数調整（個体数が上限を上回ったら対象獣を自動捕獲機で捕獲。カメラによる24時間監視、遠隔操作で捕獲後、苦しめずに殺処分し、すみやかな回収、放血、解体場への搬送で利活用率100%を実現、同時に捕獲従事者の安全性も確保）

## (ソフト面)

### ■ 捕獲従事者の技術向上

捕獲従事者の技術（捕獲率）を試験で評価する国家資格制度の設立